

## 第 1 回新潟駅交通結節機能強化検討委員会 会議概要

開催日時	令和元年 7 月 8 日（月曜）午前 10 時～12 時
開催場所	新潟市役所本館 6 階 第 3 委員会室
出席者	<p><b>【委員】</b> 出席 15 名（田中昌直委員欠席、（代理出席 1 名） 佐野可寸志委員、三本和彦委員、和田徹委員、関塚政行委員、 木山光委員、前田穰委員、田中正克委員、松平信治委員、田中創委員、 小椋康裕委員、中牧俊明委員、大坂剛委員、佐野哲郎委員（代理）今井剛委員、 古川尚史委員、新階寛恭委員</p> <p><b>【オブザーバー】</b> 出席 2 名（欠席なし（代理出席 1 名） 新潟市観光・国際交流部長（代理）観光政策課長、新潟市土木部長</p> <p><b>【事務局】</b> 都市政策部長、新潟駅周辺整備事務所長</p>
公開・非公開	非公開（新潟市情報公開条例第 6 条第 3 号のアに掲げる情報に関するため）
会議内容	<p>1. 開会</p> <p>2. 委員及びオブザーバー紹介について 出席者名簿により委員及びオブザーバーを紹介しました。</p> <p>3. 委員長選出 委員の互選により、長岡技術科学大学大学院教授の佐野可寸志委員を委員長として選出しました。</p> <p>4. 議事</p> <p>(1) 設立趣旨について</p> <p>(2) まちづくりの基本的な考え方について</p> <p>(3) これまでの取り組みについて</p> <p>(4) 検討委員会の進め方について</p> <p>(5) 検討委員会の議論に関する現状について</p> <p>(6) 意見交換 議事について、事務局より説明し、意見交換を行いました。</p> <p>&lt;主な意見&gt;</p> <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟駅周辺整備事業や万代島ルート線など、新潟駅周辺で実施中の各事業について、今後の工程を示してほしい。</li> <li>・観光の視点を取り入れ、今後の観光客の見込みなども踏まえた検討が必要ではないか。</li> <li>・案内サインも含め、各交通手段の乗り換えが分かりやすくなる必要がある。</li> <li>・長距離バス乗り場は、分かりやすい場所で、待合い環境が整っているとよい。</li> </ul> <p>5. 閉会</p>

# 第1回 新潟駅交通結節機能強化検討委員会

日時：令和元年7月8日（月）10:00～

会場：新潟市役所本館 6階 第3委員会室

## 次 第

1. 開 会

2. 委員及びオブザーバー紹介

3. 委員長選出

4. 議事

- (1) 設立趣旨について
- (2) まちづくりの基本的な考え方について
- (3) これまでの取り組みについて
- (4) 検討委員会の進め方について
- (5) 検討委員会の議論に関する現状について
- (6) 意見交換

5. 閉 会

# (案)

## 新潟駅交通結節機能強化検討委員会開催要綱

### (目的)

第1条 新潟駅周辺地区（以下、「駅周辺」という。）において、交流人口の拡大や拠点性の向上を目指すため、次に掲げる事項について、専門的・学術的見地から幅広い意見を聴取し、駅周辺における交通結節機能強化に向けた計画を策定することを目的として、新潟駅交通結節機能強化検討委員会（以下、「委員会」という。）を開催する。

- (1) 駅周辺の広域的な交通結節機能強化策に係る事項
- (2) 公共交通を中心とした駅周辺まちづくりに係る事項
- (3) その他駅周辺広域交通計画に関し必要と認める事項

### (委員会構成)

第2条 委員会は、別表に掲げる委員、オブザーバー（以下、「委員等」という。）をもって構成する。

### (委員任期)

第3条 委員の任期は、就任承諾の日から2年を超えない範囲とする。

### (守秘義務)

第4条 委員等は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。

### (委員長及び委員長代理)

第5条 委員会には委員長及び委員長代理を置き、委員長は委員の互選によってこれを定める。

2 委員長は、委員会の進行を行う。

3 委員長がやむを得ず委員会に出席できない場合は、委員長があらかじめ指名したものがその職務を代理する。

### (会議)

第6条 委員会の会議は、必要の都度市長が招集する。

2 委員長が必要と認めるときは、委員会に委員等以外の者の出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

3 委員会の会議は原則公開とする。ただし、会議における審議の内容が、新潟市情報公開条例第6条各号に掲げる情報（非公開情報）に関するものであるとき、又は、会議を公開することにより、当該会議の適正な運営に著しい支障が生じると認められるときは、この限りでない。

### (事務局)

第8条 委員会の事務局は、新潟市都市政策部に置く。

### (その他)

第9条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関して必要な事項は、市長が別に定める。

### 附則

### (施行期日)

この要綱は、令和元年 7月 8日から施行する。

# 別表

## 新潟駅交通結節機能強化検討委員会 名簿

### 【委員】

(順不同・敬称略)

所 属	氏 名
長岡技術科学大学大学院 教授	佐野 可寸志
東日本旅客鉄道株式会社 新潟支社 総務部 企画室 室長	三本 和彦
新潟交通株式会社 乗合バス部 部長	和田 徹
南口臨時バスターミナル使用者	関塚 政行
近隣大規模土地所有者 ・新潟駅南プラーカ商店街振興組合 監事	木山 光
近隣大規模土地所有者	前田 穰
国土交通省 北陸地方整備局 建政部 都市調整官	田中 正克
国土交通省 北陸地方整備局 道路部 道路調査官	松平 信治
国土交通省 北陸地方整備局 新潟国道事務所 所長	田中 創
国土交通省 北陸信越運輸局 交通政策部 部長	小椋 康裕
国土交通省 北陸信越運輸局 観光部 部長	中牧 俊明
新潟県 土木部都市局 局長	大坂 剛
新潟県 交通政策局 局長	田中 昌直
新潟県 観光局 局長	佐野 哲郎
新潟県 警察本部 交通部 部長	古川 尚史
新潟市 技監	新階 寛恭

### 【オブザーバー】

(順不同・敬称略)

所 属	氏 名
新潟市 観光・国際交流部 部長	上村 洋
新潟市 土木部 部長	吉田 和弘

# 第 1 回 新潟駅交通結節機能強化検討委員会

## —まちづくりの基本的な考え方—

令和元年7月8日(月) 午前10時～  
新潟市役所本館6階 第3委員会室

1

### 新潟駅交通結節機能強化検討委員会

#### 1. 都市計画マスタープラン(抜粋)

都市計画マスタープランでは

田園に包まれた多核連携型都市  
—新潟らしいコンパクトなまちづくり—

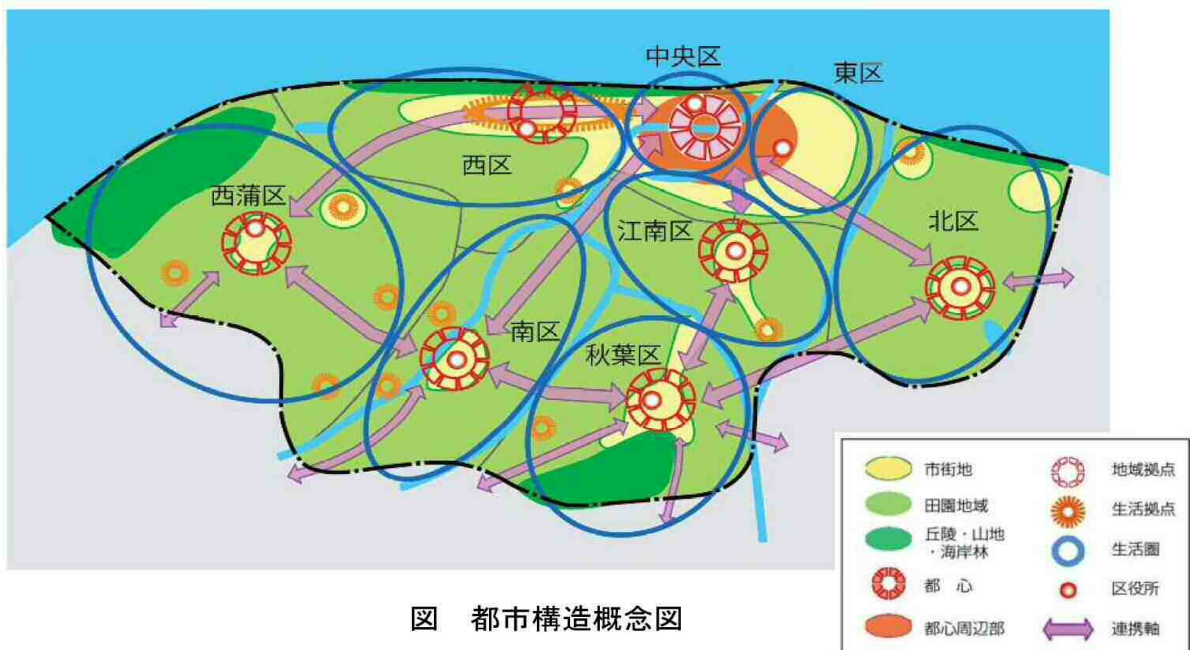


図 都市構造概念図

2

# 新潟駅交通結節機能強化検討委員会

## 2. にいがた都市交通戦略プラン（概要版）



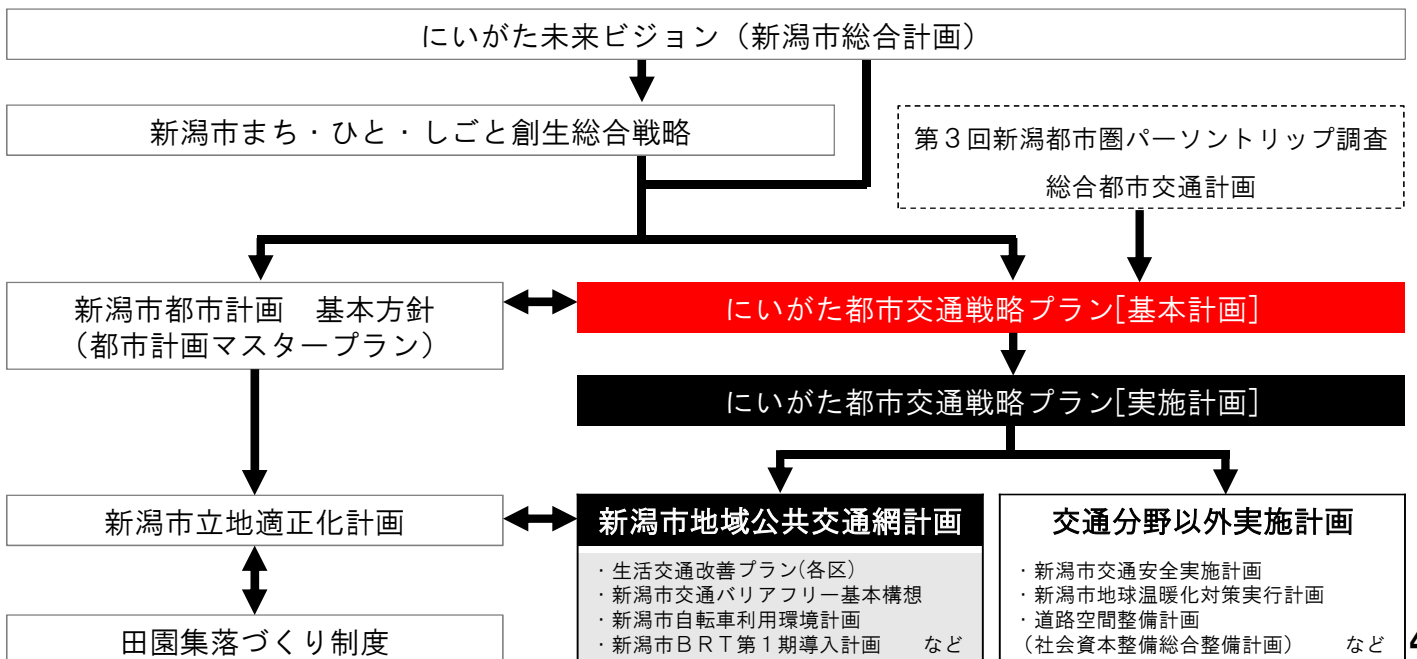
# 新潟駅交通結節機能強化検討委員会

## 3. にいがた都市交通戦略プランの位置づけ

※2008年策定時は「にいがた交通戦略プラン」

○ 「にいがた未来ビジョン」「新潟市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に即し本州日本海側初の政令指定都市にふさわしい活力と魅力あふれる多核連携型のまちづくりに向けた交通環境整備を実現すべく、「にいがた都市交通戦略プラン」を策定し交通施策を推進

＜にいがた都市交通戦略プランの位置づけ[にいがた都市交通戦略プラン抜粋]＞



# 新潟駅交通結節機能強化検討委員会

## 4. 新たな将来像と実現に向けた目標の設定

- 「にいがた都市交通戦略プラン」では策定から概ね10年を経過するなか、これまでの取り組みの検証と合わせ、県都新潟市の更なる拠点性の強化と公共交通の充実に向け、新たな将来像として「県都新潟の拠点化と安心して暮らせるまち」の実現に向けて新たな目標を設定

### <県都新潟の拠点化と安心して暮らせるまち [にいがた都市交通戦略プラン抜粋]>

#### 目標1

「県都新潟の**拠点化**を支える交通」（拠点化の視点）

- ・ 新潟駅連続立体交差事業の整備効果を最大限発現させるため、新潟港、新潟空港などの広域交通拠点と二次交通を結び付け、交流人口の拡大を図りながら、まちの賑わいを向上させていき「全国とつながる」「世界とつながる」拠点都市新潟を形成していきます。
- ・ 市民や来訪者が都心部を多様な手段で便利に楽しく回遊できることで、まちの賑わいを創出します。

#### 目標2

「**安心して**暮らせることで選ばれるまちを支える交通」（市民生活の視点）

- ・ これまでに取り組んできた様々な施策を土台に、さらなる質の向上を図り、地域に根差した持続可能な公共交通となる仕組みを築き、住みよいまち新潟・暮らしたいまち新潟を構築させていきます。
- ・ すべてのライフステージにおける公共交通の利便性を高め、住み慣れた地域ですっと安心して暮らせる「まち」と誰からも選ばれる「まち」となる公共交通環境を構築させていきます。

5

# 新潟駅交通結節機能強化検討委員会

## 5. 新潟駅交通結節機能強化検討委員会設立趣旨

- 「にいがた都市交通戦略プラン」に基づき、新潟駅連続立体交差事業の効果の最大化と新潟駅周辺地域における広域交通拠点との交通結節機能の強化に向けた計画策定を目的とし産官学が一体となって検討を行う場として新潟駅結節機能強化検討委員会を設立

将来像を実現するための5つの基本方針

基本方針（視点：都心アクセスの強化）  
多核連携型のまちづくりを支える交通戦略

基本方針（視点：広域交通との連携強化）  
都市の活力と拠点性を強化する交通戦略

基本方針（視点：都心部の移動円滑化）  
まちなかの賑わいを創出する交通戦略

基本方針（視点：生活交通の確保維持・強化）  
暮らしを支えるモビリティを地域で育む交通戦略

基本方針（視点：市民や関係者による協働）  
みんなで築き上げる交通戦略

- 土地利用と連携した基幹公共交通軸の形成
- 広域交通拠点と主要エリア間のアクセス強化と周遊強化
- 多様な手段による回遊性向上と結節強化
- 都心部への通過交通抑制に資する道路の整備
- 公共交通や歩行者自転車空間創出に資する道路空間の再構築・利活用

### 新潟駅交通結節機能強化検討委員会

新潟駅の拠点性向上を目指すため、新潟駅における広域的な交通結節機能強化策について検討

6

# 新潟駅交通結節機能強化検討委員会

## 6. 基本方針：都市の活力と拠点性を強化する交通戦略（「にいがた都市交通戦略プラン」より）

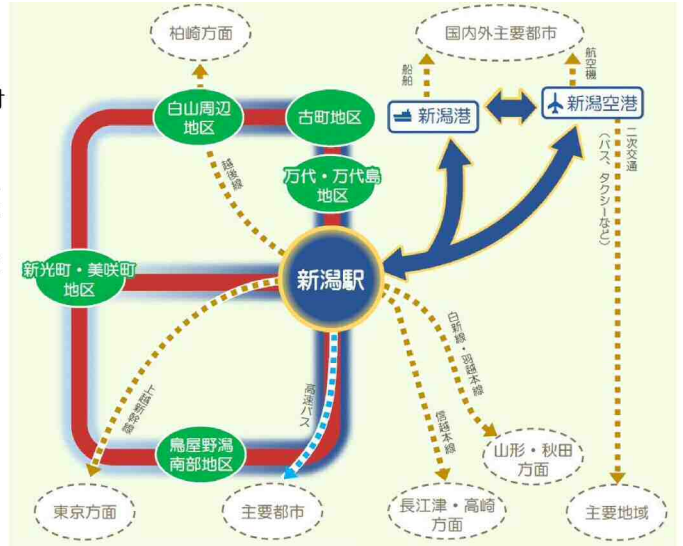
- 都心周辺部には複数の都市拠点を擁しており、新潟の拠点性を高めるためにも拠点間の効果的な連携が必要
- 同時に、都心と各拠点間の交通アクセスを強化することによる交流人口を拡大、二次交通の乗り換え利便性向上などにより広域交通拠点と基幹公共交通軸の連携を強化

### <土地利用と連携した基幹公共交通軸の形成>

- ・ 都市機能誘導施策と連携した基幹公共交通軸の形成
- ・ 市民理解とともに交通事業者と連携し、望ましい整備のあり方を検討

### <広域交通拠点と主要エリア間のアクセス強化と周遊強化>

- ・ 新潟駅・新潟港・新潟空港など広域交通拠点と、都心部及び主要拠点の連携を強化するため、バス等の二次交通を充実し、交流人口の拡大を図る
- ・ 新潟駅周辺整備事業を推進し、効果を最大限発揮するとともに、各交通手段の結節を強化する
- ・ 低未利用地の活用や交通ターミナル機能の充実など広域交流の玄関口としての充実を図る



新潟駅万代広場イメージ

新潟駅南口広場 (H21第1期工事了)

■ 基幹公共交通軸\*  
■ 広域交通拠点間アクセス軸

\*基幹公共交通軸：都心を中心に主要な拠点を結ぶ公共交通の軸



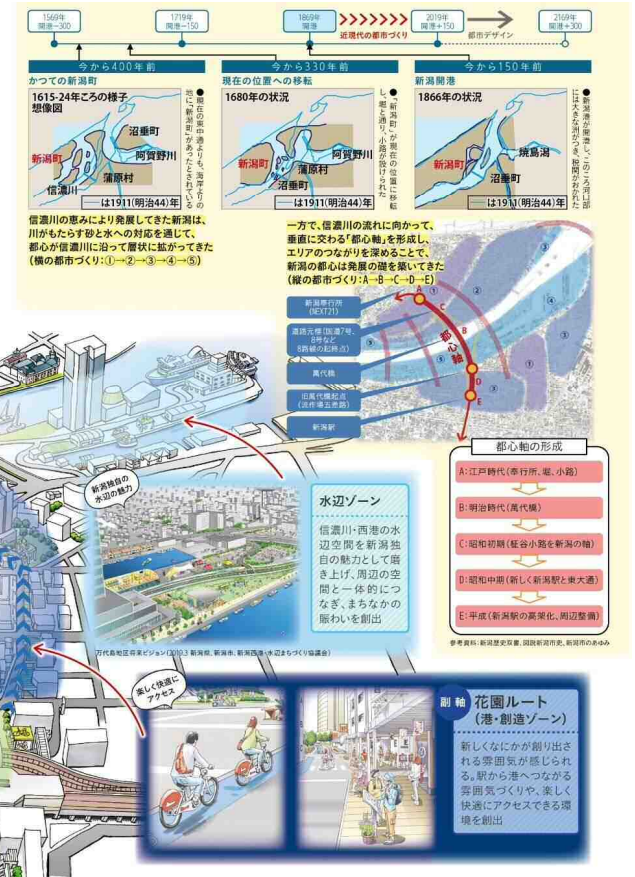
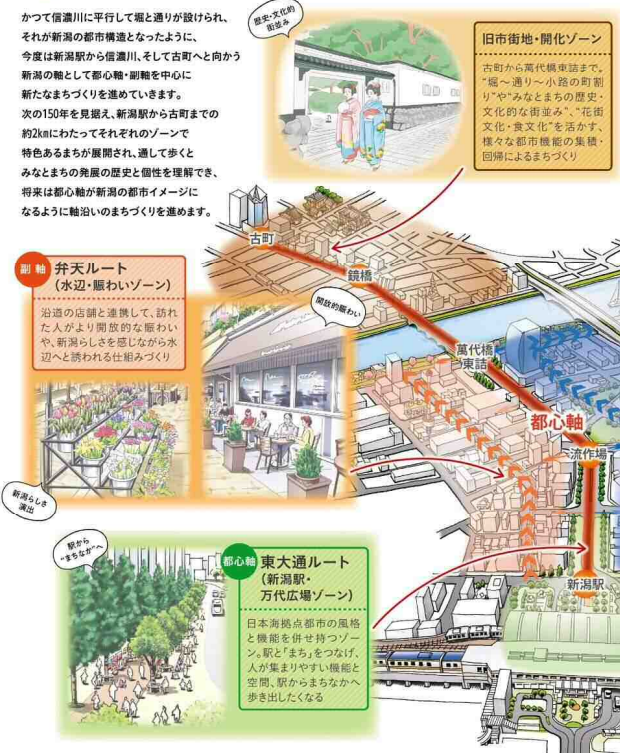
新潟駅高架下交通広場イメージ

# 新潟駅交通結節機能強化検討委員会

## 7. 新潟都心の都市デザイン

### 新潟都心 都市デザインのイメージ

5つのゾーンそれぞれで特徴あるまちづくりを展開





# 新潟駅交通結節機能強化検討委員会

## 8. 基本方針：まちなかの賑わいを創出する交通戦略（「にいがた都市交通戦略プラン」より）

- 新潟駅周辺整備事業を契機に、誰もが快適に移動出来る交通環境として歩行者、自転車や公共交通による回遊性向上と結節を強化
- 都心部への通過交通抑制に資する道路整備を進めるとともに、道路空間を再構築することで、まちなか活性化に向けた回遊性を向上

### <多様な手段による回遊性向上と結節強化>

- ・駅南北間を結ぶ道路整備等により、新潟駅南北間の回遊性を向上する
- ・新潟駅周辺整備事業により、鉄道、バス、徒歩等の結節を強化する

### <都心部への通過交通抑制に資する道路の整備>

- ・都心部に流入する通過交通の抑制に資する道路整備を推進する

### <公共交通や歩行者自転車空間創出に資する道路空間の再構築・利活用>

- ・公共交通や歩行者自転車通行空間を確保し、賑わいの創出につながる道路空間の利活用を推進する



まちなかの回遊性促進イメージ



新潟駅万代広場イメージ



万代島ルートの整備イメージ

# 新潟駅交通結節機能強化検討委員会

## 9. 新潟駅 万代広場整備の方向性

◎まちと駅をつながり・広がり・一体感  
 ・駅前広場から東大通へ連続する歩行者空間、緑の列植の創出  
 ・東大通の道路空間再構築により広場的空間の創出  
 ・駅前広場と東大通の一体的な取り組み（利活用、景観形成）

◎人・公共交通中心の空間形成  
 ・駅前広場及び東大通は、人と公共交通優先

◎わかりやすさ・使いやすさ  
 ・観光客にもわかりやすい動線  
 ・案内サイン、情報発信、休憩施設など、多様な機能を搭載した道しるべの設置

◎南北の役割分担  
 （万代）人が集まり、まちなかへ歩き出したくなる空間  
 （南口）広域交流の玄関口

ペDESTリアンデッキから中央広場を望む

※記載内容はイメージであり、関係機関等とは未協議のため決定しているものではありません。

# 新潟駅交通結節機能強化検討委員会

## 10. 委員会での検討内容

### にいがた都市交通戦略プラン

基本方針（視点：広域交通との連携強化）  
都市の活力と拠点性を強化する交通戦略

基本方針（視点：都心部の移動円滑化）  
まちなかの賑わいを創出する交通戦略

- 土地利用と連携した基幹公共交通軸の形成
- 広域交通拠点と主要エリア間のアクセス強化と周遊強化

- 多様な手段による回遊性向上と結節強化
- 都心部への通過交通抑制に資する道路の整備
- 公共交通や歩行者自転車空間創出に資する道路の再構築・利活用

### 新潟駅交通結節機能強化検討委員会

- 増大する観光客や来訪者といった交流人口の拡大に向けて、二次交通を充実し、広域交通拠点と都心部及び主要拠点の連携を強化
- 新潟駅周辺整備事業を促進し、効果を最大限発揮するとともに、各交通手段の結節を強化
- 低未利用地の活用や交通ターミナル機能の充実など広域交流の玄関口として充実

- <検討内容>
- (1) 駅周辺の**広域的な交通結節機能強化策**に係る事項
  - (2) 公共交通を中心とした**駅周辺まちづくり**に係る事項
  - (3) その他**駅周辺広域交通計画**に関し必要と認める事項

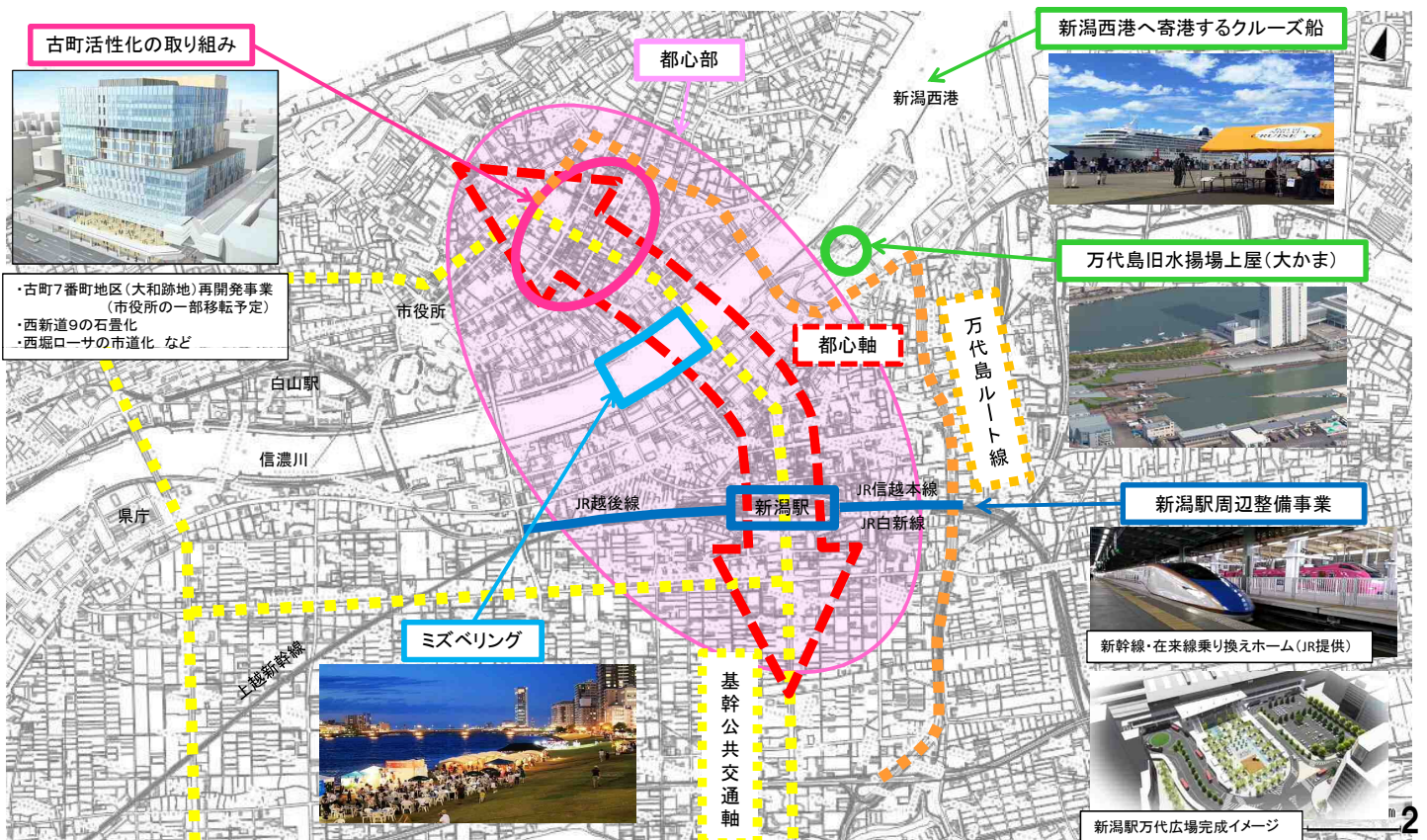
# 第1回 新潟駅交通結節機能強化検討委員会 —これまでの取り組み—

令和元年7月8日(月) 午前10時～  
新潟市役所本館6階 第3委員会室

1

## 新潟駅交通結節機能強化検討委員会

### 1. 市内中心部における取り組み



2

# 新潟駅交通結節機能強化検討委員会

## 2-1. 新潟駅周辺整備のスケジュール

**2009年度**

南口広場脇  
再開発完了

南口広場完成

**2018. 4. 15**

高架駅第一期開業・踏切除却

JR提供

**2021年度頃**

鉄道高架全線切換

**2022年度頃**

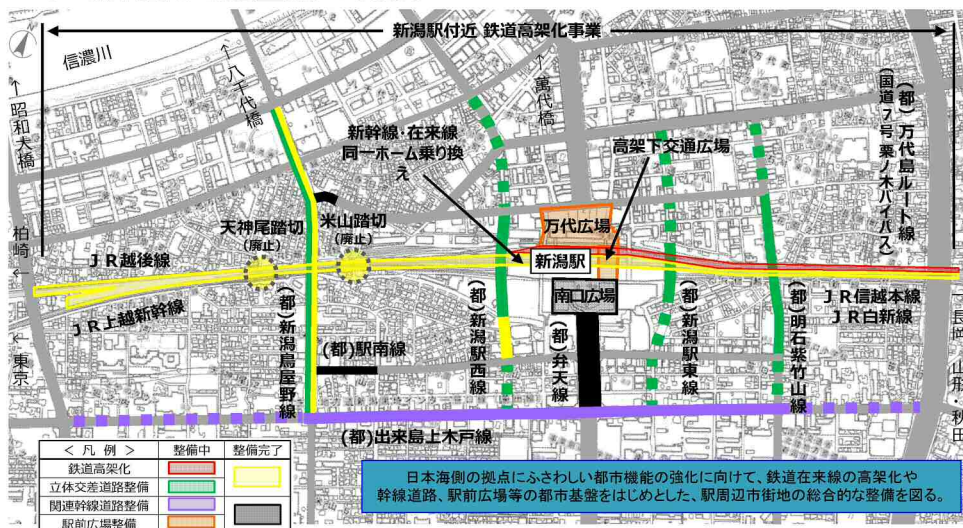
高架下交通広場完成

**2023年度頃**

万代広場完成

# 新潟駅交通結節機能強化検討委員会

## 2-2. 新潟駅周辺整備の概要



**2018年4月 新潟駅 高架駅第一期開業**

踏切除却による安全性と利便性の確保

東北日本海側との連携による日本海国土軸の強化

高架駅の様子

新幹線と在来線の「のりかえホーム」のイメージ

新島屋野線は2018年4月に高架駅第一期開業を迎え、今後は**2021年度頃の全面開業**を目指して、高架化事業を推進

新幹線と在来線の「のりかえホーム」のイメージ

除却する前の米山踏切の様子

踏切除却により、踏切事故が無くなるとともに交通混雑の緩和が図られた。また、新幹線と在来線の「のりかえホーム」の供用により、乗り換えの利便性が向上した。

**2019年度**

南北市街地の一体化

新潟島屋野線のイメージ

立体交差道路として、2019年度に新潟島屋野線を供用し、順次、その他の道路を整備することで南北市街地の一体化を進める。

**2022年度頃**

公共交通結節機能の強化

基幹公共交通軸の形成

高架化した駅直下にバスターミナルを整備することにより、鉄道とバスの乗り換え利便性が高まるとともに、駅南北を結ぶ基幹公共交通軸を形成。

高架下交通広場のイメージ

高架化した駅直下にバスターミナルを整備することにより、鉄道とバスの乗り換え利便性が高まるとともに、駅南北を結ぶ基幹公共交通軸を形成。

**2023年度頃**

新潟駅の拠点性向上

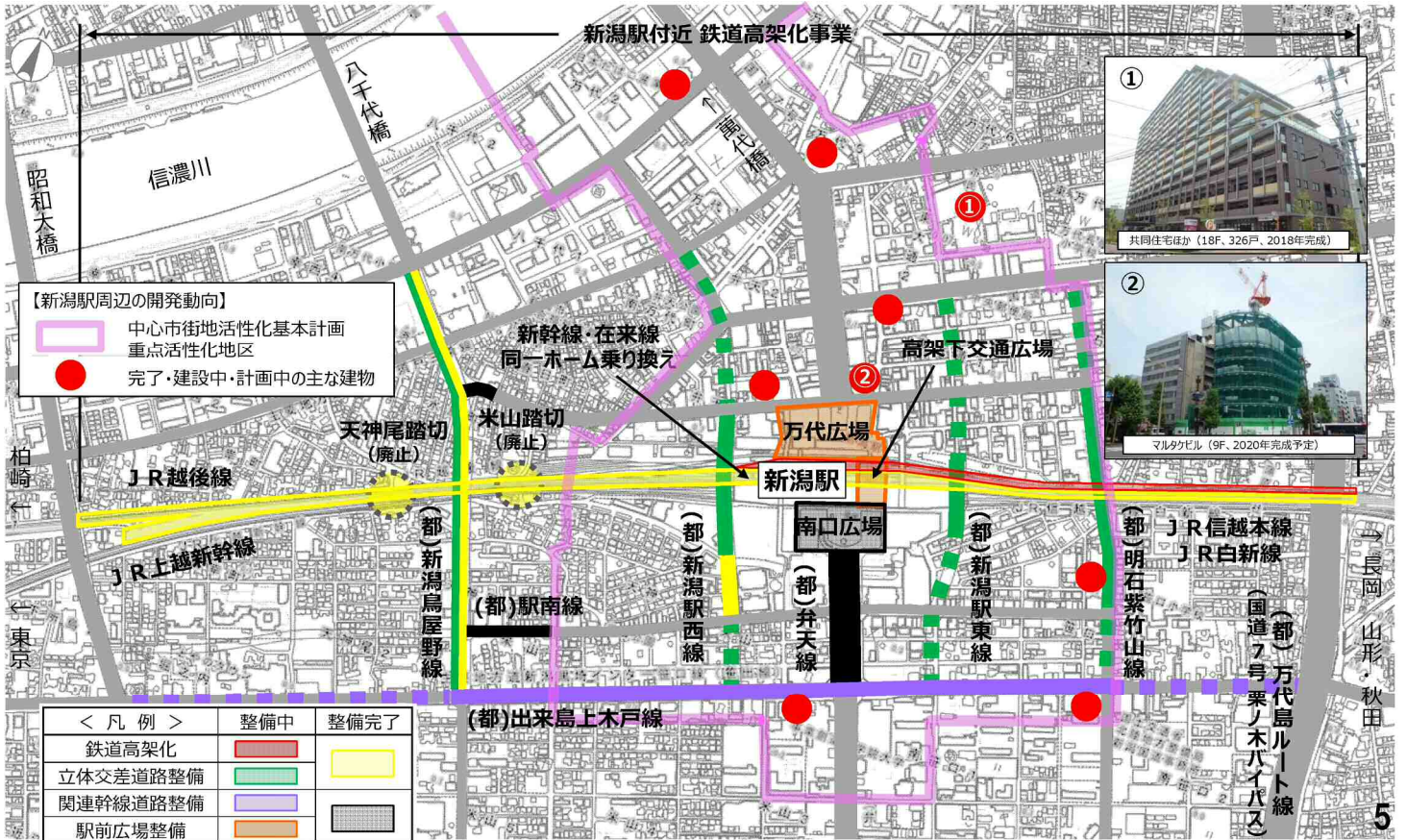
新たなにぎわいの創出

万代広場のイメージ

高架化事業と一体的に駅前広場を整備することにより、駅周辺の新たなにぎわいを創出するとともに、新潟駅の拠点化が進むことで民間投資の誘発にも期待。

# 新潟駅交通結節機能強化検討委員会

## 2-3. 新潟駅周辺整備と近年の開発動向



# 新潟駅交通結節機能強化検討委員会

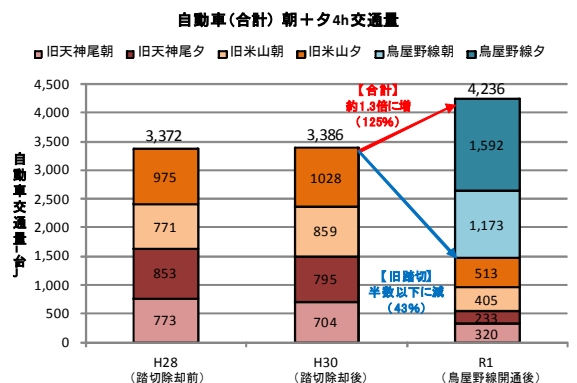
## 3. 新潟駅周辺の自動車交通量

### (1) 新潟鳥屋野線一部供用による交通量の変化

#### 【事業概要】

- 事業区間 中央区八千代1丁目～中央区米山
- 延長 819m
- 幅員 30m (4車線・歩道・自転車道・植樹帯)
- 事業期間 2006年度～2019年度(予定)

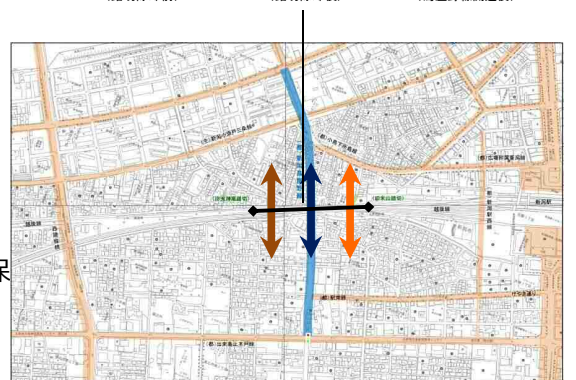
新潟鳥屋野線一部供用により、  
南北交通量が1.3倍に増加



整備イメージ

#### 【主な取り組み】

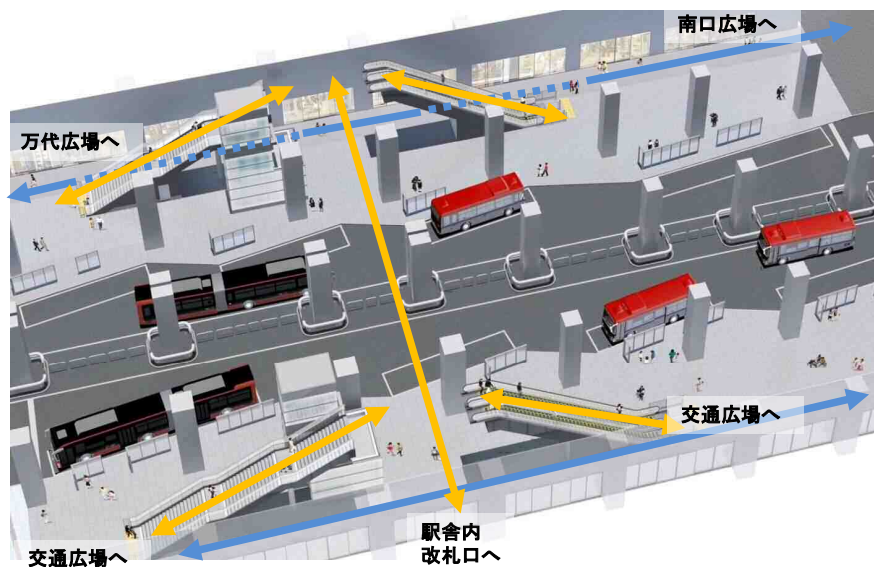
- ◎ 電線類の地中化
  - ・良好な景観形成
  - ・都市防災の向上
- ◎ 自転車道の整備
  - ・自転車や歩行者の安全性、利便性の確保



自動車 朝+夕4h(7:00～9:00, 17:00～19:00)交通量 6

# 新潟駅交通結節機能強化検討委員会

## 4. 高架下交通広場



### バス乗降場全体イメージ

新潟駅2階の鉄道改札口とバス乗降場は1本の動線で結ばれます

### 新潟駅の南北横断

24時間地平レベルでの南北横断が可能になります



### バス乗降空間イメージ

高架下のバス乗降場は天候に左右されないバス待ち環境



# 新潟駅交通結節機能強化検討委員会

## 5. 万代広場



万代広場の整備イメージ

6. 万代島ルート線



都市計画道路  
万代島ルート線

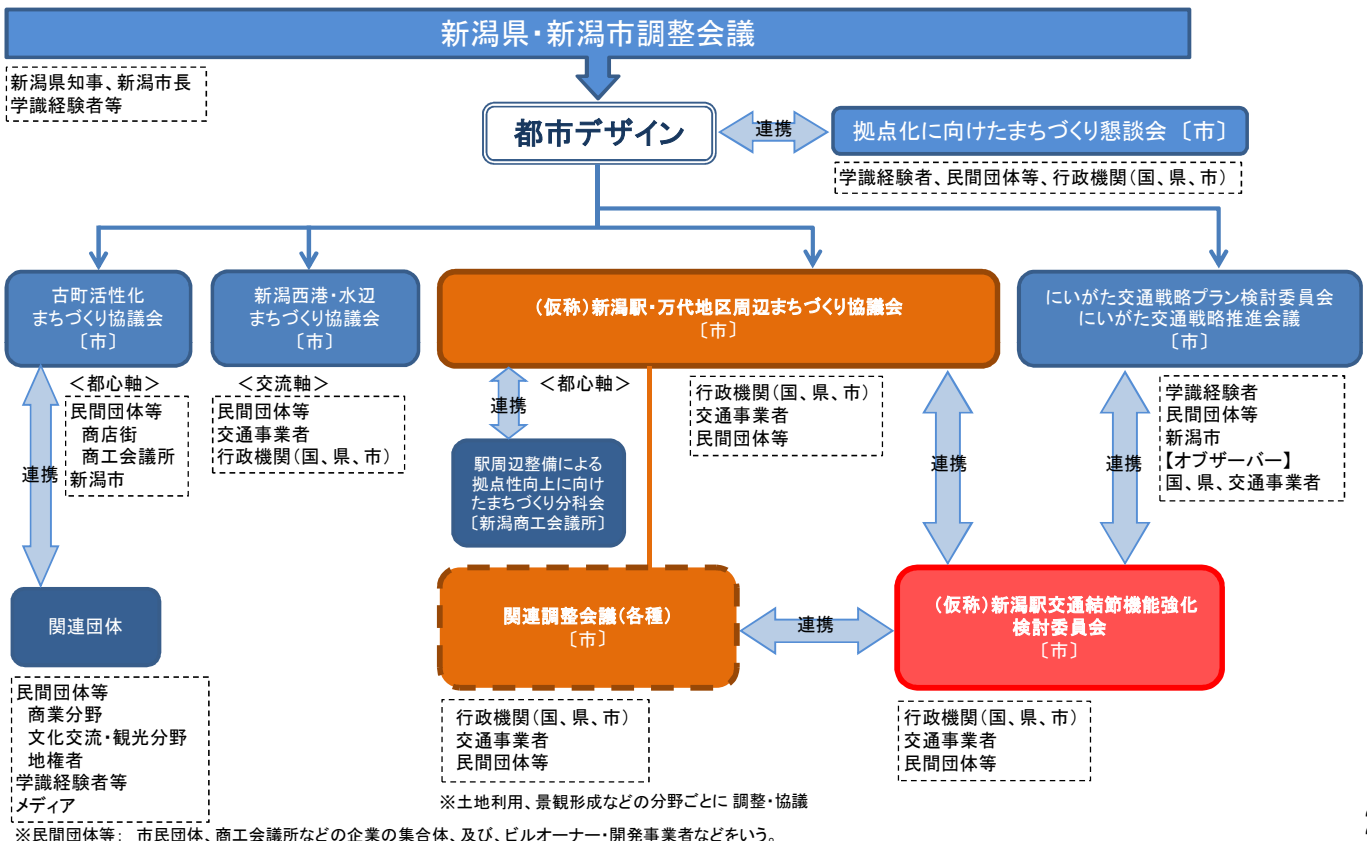
# 第1回 新潟駅交通結節機能強化検討委員会 —検討委員会の進め方—

令和元年7月8日(月) 午前10時～  
新潟市役所本館6階 第3委員会室

1

## 新潟駅交通結節機能強化検討委員会

### 1. 新潟のさらなる拠点化に向けた検討・推進体制

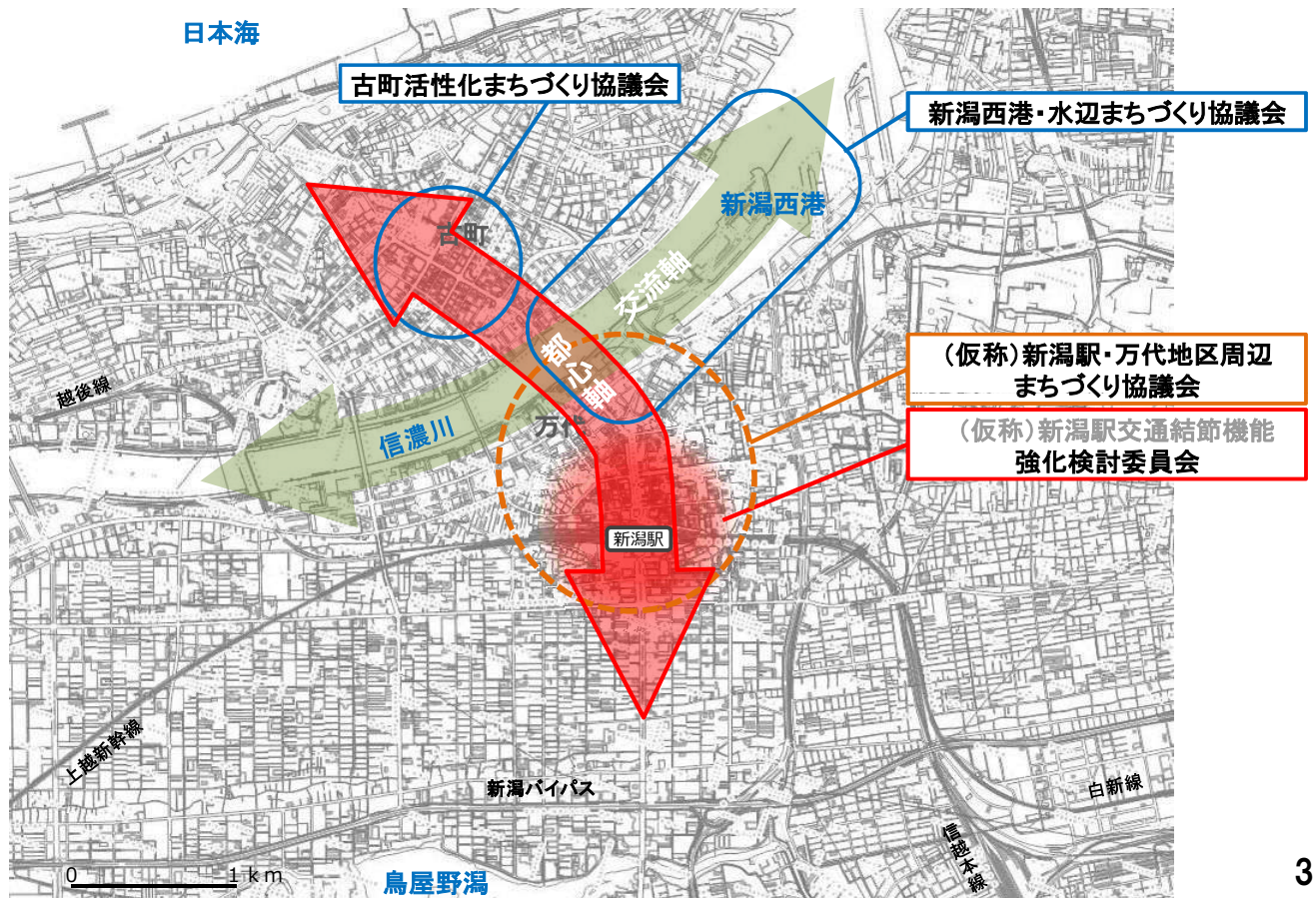


2



# 新潟駅交通結節機能強化検討委員会

## 2. 各協議会等の主な対象範囲

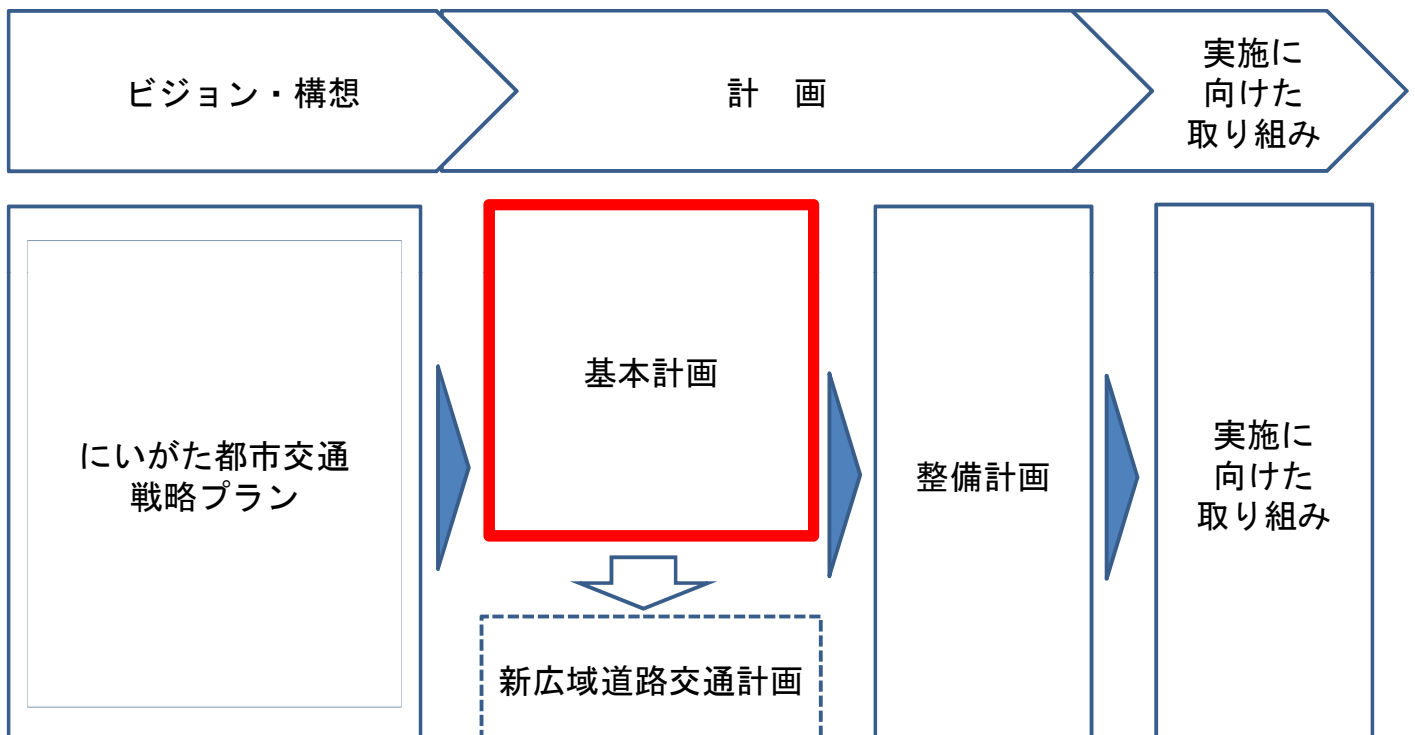


3

# 新潟駅交通結節機能強化検討委員会

## 3. 新潟駅交通結節機能強化検討委員会での検討

○ 新潟駅周辺地区において、交流人口の拡大や拠点性の向上を目指すため、新潟駅周辺地区における交通結節機能強化に向けた計画を策定することを目的とする。



4

## 4. 今後の開催予定（案）

令和元年7月8日

必要に応じ検討委員会開催

